

2026 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐 野 文 勝
(コード番号：5698 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理管掌 竹 川 直 希
(TEL. 0544-21-3160)

業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月 12 日に公表した 2026 年 6 月期（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売 上 高 (百 万 円)	営 業 利 益 (百 万 円)	経 常 利 益 (百 万 円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百 万 円)	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	43,000	2,300	2,600	1,800	63 円 24 銭
今回修正予想(B)	44,400	3,200	3,500	2,400	84 円 32 銭
増 減 額 (B－A)	1,400	900	900	600	
増 減 率 (%)	3.3	39.1	34.6	33.3	
(参考)前期実績 (2025 年 6 月 期)	49,090	972	1,216	1,175	39 円 19 銭

(2) 修正の理由

当連結会計年度において、資源の囲い込みや地政学リスクに伴う不透明感が続くなか、資源循環の重要性がますます高まりました。

市場環境におきましては、需給改善や円安等により鉄スクラップ価格が底堅く推移いたしました。加えて、投機的資金の流入や供給懸念を背景とした銅・金・銀などの非鉄金属・貴金属相場が歴史的な高値圏を維持したほか、リチウムイオン電池の主原料であるレアメタルも堅調に推移するなど、期末にかけても良好な市場環境が継続いたしました。

このような環境下、当社グループ独自の選別技術の深化による社会的に不可欠かつ高付加価値な品目の回収を強化するとともに、継続的に取り組んできた構造改革の成果が第4四半期においても一段と顕在化し、収益性の向上に大きく寄与いたしました。

これら一連の取り組みが良好な市場環境と相まって、期末にかけて限界利益の拡大が想定を上回って進展いたしました。この結果、主要なセグメントにおいてさらなる利益の積み上げが図られ、通期連結業績予想が 2026 年 2 月 12 日に公表した数値を上回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2026 年 2 月 12 日)	—	22 円	22 円
今 回 修 正 予 想	—	25 円	25 円
当 期 実 績	0 円		
前 期 実 績 (2025 年 6 月 期)	0 円	15 円	15 円

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、持続的な成長に向けた内部留保等を総合的に勘案しながら、長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。株主還元の指標として株主資本配当率（DOE）2.5%を下限として実施してまいります。

この方針のもと、上記のとおり通期連結業績予想の上方修正に加え、株主の皆様への利益還元を一層重視する観点から、2026 年 6 月期の 1 株当たりの期末配当金につきましては、2026 年 2 月 12 日に公表いたしました 22 円より 3 円増配し、25 円を予定しております。

また、本件につきましては、2026 年 9 月開催予定の定時株主総会に付議予定となります。

以 上